

1 令和7年度の教育目標

(1) 本校の教育目標

弥富市の学校教育基本方針を受け、本校の教育目標を「児童のすぐれた個性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましい人間の形成」とする。

そのため、校訓を「正しく やさしく たくましく」とし、その具現化を目指す。

<校 訓>	<目指す児童像>
正 し く ………	真理を求め よく考え実践する子
やさしく ………	礼儀正しく おもいやりのある子
たくましく ………	心身ともにたくましく がんばる子

(2) 経営方針

「共に育ちましょう（共育）」の発想を全ての教育活動の基本姿勢とし、「笑顔と協働」の学校づくりを目指す。

ア 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、学習指導の充実に努める。

イ 「居場所づくり・絆づくり」を核とした心の教育の充実に努める。

ウ 健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、さまざまな場面での正しい判断力を養う。

エ 働き方改革を進め、職員が健康に教育活動に従事できる職場環境を作る。

オ 学校便り・ホームページを活用し、開かれた学校作りに取り組む。

(3) 本年度の重点努力目標

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、「チーム栄南」として、学校・家庭・地域社会が連携・協力して児童の豊かな人間性の育成を図る。

ア 学習指導の充実

- 導入の工夫、考えを交流する場の充実、発問や切り返しの工夫、振り返りを生かした授業展開など、授業の工夫や改善に努めることで、主体的に課題に向かう児童に育てる。
- 子ども同士や地域の方々力を活用し、探究的な学習や体験活動などに取り組む。
- 一人1台端末を効果的に活用し、情報活用能力や論理的思考力の伸長を図る。
- 外国語科や外国語活動の指導を通して、国際社会を担う児童の育成に努める。

イ 心の教育の充実

- 「スリンプログラム」を軸とした関わり合い活動や多様な価値観を認め合う取組を軸にして、自分のよさを発揮し、安心感を得られるような「居場所づくり」を行う。
- 児童の自主性を尊重し、目標に向かって互いに励まし合いながら成長できる集団の育成を目指した「絆づくり」を行う。
- 学校行事や異学年交流の活動を通して、互いの存在を大切にする心を育て、児童の自己有用感や自己肯定感を高める。
- 「考え、議論する」道徳教育を勧めると共に、道徳的実践力を養う。
- 栄南小合言葉「えがおであいさつ・いい返事・なかよくはきものをそろえる・みんなのはなしを目できこう」を生活習慣の基本姿勢とする。
- インクルーシブ教育を進め、「みんな違うけど、みんなと一緒に」の考えを大切にし、特別支援教育及び、外国籍児童の理解促進に努める。

ウ 保健・安全指導の充実

- 自分の健康に目を向け、自ら進んで健康な心と体づくりに取り組む児童の育成に努める。
- 南海トラフ地震の到来に備えて、様々な想定での避難訓練を行い、「自分の命は自分で守る」意識を高め、自分で判断し、安全に行動できる力を養う。

エ 働き方改革

- 教職員一人一人のワーク・ライフ・バランスを十分配慮し、組織運営の見直しや業務改善に取り組み、各職員が健康的に教育活動に従事できる環境を整える。

オ 開かれた学校づくり

- 学校だよりや学校ホームページを充実させ、広く学校の情報を公開するとともに、家庭や地域社会の信頼と協調を得るように努め、開かれた学校づくりを進める。